

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 稲城市立若葉台小学校

種別  保育園・幼稚園     小学校     小中一貫教育  
 中学校     中高一貫教育     高等学校  
 教員養成     技術/職業教育  
 特別支援学校     その他（                      ）

所在地 〒206-0824  
東京都稲城市若葉台4-5

E-mail [inewaka88@educet.plala.or.jp](mailto:inewaka88@educet.plala.or.jp)

Website \_\_\_\_\_

児童生徒数 男子 395名    女子 358名    合計 753名  
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（                      ）

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

(2年生の活動)

『おいもを育てよう』

地域の畑をお借りして、地元の農家の方々に育て方を教わりながら、春から秋にかけて、さつまいもを育てた。育てる過程で観察活動や、農家と方々とのふれあいの時間を楽しんだ。秋の収穫では、保護者の方々にも来ていただき、大きく育ったいもを皆で掘り出し、収穫の喜びを味わった。さらに、「収穫祭」として収穫したいもを使ってスイートポテトを作り、お世話になった農家の方々を招いて、皆で秋の味覚を味わった。いもを育てる苦労や喜びを知るとともに、自分たちが育てたいもを皆で味わうことを通して、身近な食材や食そのものへの関心を高めることができた。

(5年生の活動)

『お米のひみつをさぐる』

地域の田んぼをお借りして、地元の稲作農家の方々の協力を得ながら、米作りの活動を年間を通して行った。代掻きや田植え、稲刈りや脱穀など、稲を育てお米が食べられるようになるまでの過程を、体験的に学習した。児童は、自分から進んでかかし作りに取り組むなど、無事に最後まで育てるための工夫を考えた。

収穫の際には全員で豊に大きく実った稲を刈り取り、収穫の喜びを味わった。さらに、「収穫祭」として、収穫したお米を米俵にしたものを実際に間近で見たり、手で持ったりすることで、一年間かけてお米を育てる労働の重みを感じることができた。収穫祭では、お世話になった農家の方々を招き、お米に関して学んだことや調べたことを発表するとともに、感謝の気持ちを皆で伝えた。最後に、収穫したお米を炊いておにぎりを作り、自分たちが育てたお米をじっくり味わうことを通して、お米のおいしさや一粒に込められた農家の方の思い、育てる苦労など、多くのことを学び取ることができた。

その後の給食では、以前よりも残飯がはつきりと少なくなり、活動の成果を感じることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）